

佳作

## 私が見た優しさ

香川県 高松市立古高松小学校六年 竹田 愛依

私が母と姉と一緒に歯医者に行った時の出来事です。

私が治療に呼ばれるのを待っていた時、おじさんとそのお母さんが歯医者に入ってくるのが見えました。そのお母さんは足が悪そうでした。おじさんは歯医者に入ってくると、お母さんにさっとスリッパを出してあげて手をそえてあげていました。いすにすわる時もうでを持ってあげていました。おじさんはすごく優しくそんな顔でお母さんと話をしていました。お母さんもすごく優しくそんな顔をしていました。それからしばらくして、一人のおばあさんが歯医者にきました。そのおばあさんは手押し車を押して入って来ました。

その時です。あのおじさんがそのおばあさんにさっとスリッパを出したのです。自分のお母さんと同

じようにしたのです。私はただ見ていただけしかできませんでした。そのおじさんのした優しさは私の心にすごく残りました。それから私は、呼ばれて治療室に入りました。私が治療している間、母はそのおばあさんと話をしていたそうです。そのおばあさんは何年か前にパーキンソン病になったそうです。手足が思うように動かず痛みがでる時もあるそうです。母はしばらくそのおばあさんと話をしていたそうです。そのおばあさんがトイレに行こうとした時、あのおじさんがまたまたさとうでを持ってトイレまで連れて行ってあげたそうです。母は何もできなかった自分になさけなかったと、治療からもどって来た私に教えてくれました。おじさんからすると当たり前のことかもしれないけど、さっと行動にうつせたおじさんを私はすごいと思いました。見ているだけしかできなかった私は、心が温かくなりました。母も姉も同じ気持ちになったそうです。

この歯医者での出来事は、私の心に深く残りました。私もおじさんのように困っている人を見かけたらさっと行動にうつせる人になりたいです。私は、はずかしがり屋だけだれかのために勇気を出して行動することで、行動した私も気持ちが良いし、さ

れた相手もうれしいし、それを見ていた周りの人も優しい気持ちになれるということが分かりました。小さな親切がたくさんの幸せになる。

私はこれから毎日一つは良いことをしたいなあ。私の周りの人が優しい気持ちになれる毎日になりたいなあ。母も姉も同じ気持ちです。この出来事を父にも話しました。父も私達と同じ気持ちになりました。ふだんの何げない生活の中でも私の出来る小さな親切はたくさんあると思います。今まで気づかなかったことや見のがしていた分、一つでも多くの親切をしたいと思います。

あのおじさんからももらった勇氣や優しさは私たちが家族の心に大きな幸せをあたえてくれました。私もあのおじさんのような勇氣や優しさをあたえられる大人になりたいです。